

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)

【公開番号】特開 2000-19889 (P2000-19889A)

【公開日】平成 12 年 1 月 21 日 (2000.1.21)

【出願番号】特願 平 10-188931

【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 21/00

G 0 3 G 21/16

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 5 0

G 0 3 G 21/00 3 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 1 月 31 日 (2003.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

このような画像形成装置においては、使用により感光体ドラムに傷が付くことがあるため、サービスマンが感光体ドラムの交換を行なう。ところで、図 6 に示すように、感光体ドラムの形状が同じ又は似ており、ドラム性能が異なる感光体ドラムが存在する場合がある。例えば、画像形成装置 A に画像形成装置 B 用の感光体ドラムを誤って組み込んでしまうと、画像形成装置として機能しなくなったり、装置を損傷してしまうという問題がある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

定着部 5 0 は、一対のローラ 5 1 , 5 2 を有し、転写紙を加熱、加圧し、この加熱、加圧された転写紙にトナー像を定着する。定着部 5 0 の後段に配置された切換ゲート 1 0 0 によって転写紙の搬送経路が排出側と、再搬送側に切り替えられる。切換ゲート 1 0 0 の切り換えは、レジスト制御部 7 0 からの転写紙の送出しのタイミングによって行なわれる。